

は じ め に

鹿児島市病院事業管理者 佐野 輝



このたび、令和8年4月1日付で鹿児島市病院事業管理者を拝命いたしました佐野でございます。

新たに就任された堀病院長と緊密に連携しながら、鹿児島市立病院の安定的かつ持続可能な運営を確保し、地域医療の中核を担う公的病院としての使命をより一層果たしてまいり所存でございます。

私はこれまで、精神神経医学を専門として教育・研究・診療に従事するとともに、鹿児島大学において医学部長、医歯学総合研究科長、学長を歴任し、大学病院を含む大規模組織の運営、人材育成、財務・経営管理に携わってまいりました。加えて、国や地域における医療政策、診療報酬制度、医療提供体制の整備に関する諸課題にも深く関わってまいりました。さらに、本院の病院事業計画策定にも携わった経験を有しており、これまで培ってきた知見と実績を、本院のさらなる発展に確実につなげてまいりたいと考えております。

現在、医療を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進行、医療ニーズの高度化・多様化に加え、物価・人件費の上昇や医療人材の確保など、極めて厳しい局面にあります。こうした中であっても、鹿児島市立病院が市民の生命と健康を守る最後の砦として、その機能を将来にわたり維持・発展させていくことは、極めて重要な責務であると認識しております。そのため、これまで築き上げてきた「質の高い医療」と「地域からの信頼」を礎に、安全・安心な医療提供体制のさらなる充実を図るとともに、健全で強靱な経営基盤の確立に取り組んでまいります。また、職員一人ひとりが誇りと使命感を持ち、その能力を十分に発揮できる組織づくりを進め、将来にわたり選ばれ続ける病院を目指してまいります。

また、精神神経医学に携わってきた立場から、身体の治療にとどまらず、心のケアを含めた全人的医療の重要性を深く認識しております。地域の皆さまの健康を心身両面から支える、温かみと品格を備えた医療の実現にも力を尽くしてまいります。

今後とも、鹿児島市民をはじめ地域の皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



このたび、鹿児島市立病院の院長を拝命いたしました堀でございます。今回の新体制におきましては、病院事業管理者と病院長の役割が明確に分けられることとなりました。高度急性期病院としての医療提供体制の管理、統括が私の責務となります。

私は昭和60年に当時の鹿児島大学第二内科に入局し、平成6年より宮崎医科大学第二内科に席をおき、平成20年には鹿児島市立病院、さらに鹿児島通信病院の3年間の勤務を経て、平成26年より再び鹿児島市立病院に復職し、令和2年より副院長を務めさせていただいておりました。

今後も高度急性期病院として、機能していくためには、院内の各診療科、看護部、薬剤部、医療技術部、事務部門との意思の疎通を円滑にし、病院としての意思の統一をはかることが重要であると考えております。

さらに、我が国は急速な少子化、高齢化の進展に直面しており、医療需要は量的にも質的にも大きく変化しています。これらの変化に対応し鹿児島県の医療を後退させることの無いように、地域の医療機関との連携を一層強化し、地域の医療機関との連携を密にして切れ目のない医療を提供できる体制を整えてまいります。

働く人口の減少も大きな問題であり、限られた人的資源の中で、医療DXの積極的な導入による医療の効率化、医療従事者の負担軽減を図れるように取り組みたいと思います。

信頼される安心・安全な高度な医療を提供することを何よりも大切にし、佐野病院事業管理者の指揮下のもと病院長としての職務に邁進したいと思います。

今後とも、地域の皆様、関係各位のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。